

文科省の教育の方向性がどのように論文問題に反映されているか

2022までは学力に関する問題が多く出題されていた

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

過去の論文問題のキーワード（東京、神奈川、横浜、川崎、埼玉、千葉など）と問題のとらえ方

真の学力、個に応じた指導、協働、ICTの活用、主体的・対話的で深い学び、実践的指導力、見方・考え方、探求する力、教師と児童・児童相互の信頼関係、学習意欲、自主的・自発的な学習・活動、言語活動、情報活用能力、人権意識、一人一人を大切にする教育、多様性、魅力ある学校、豊かな教育環境、子供の可能性、社会全体での子供の育成、健康で明るく人間性豊かな教師、未来を創るこどもたち、未来を育てるわたしたち、いじめのメカニズム、オンライン授業、子どもの話に耳を傾ける教師、一人一人の良い点や可能性を伸ばす、自己肯定感、自尊感情、幅広い教養・専門的な知識・技能を備えた教師、変化に柔軟かつ創造的に対応できる力

確かな学力
真の学力
実践的指導力

○学力向上 ○心豊かに、たくましく生き抜いていく基礎を培う、の視点に立つ

背景： 学力向上 いじめ、不登校、自殺 特別支援教育等

学習指導（授業改善）で論述できるテーマが多い

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

心豊かにたくましく生きていく基礎

主体的・対話的で深い学び 個別最適な学び 協働学習 ICTの活用
総合的な学習（探求）の時間 各教科 道徳 特別活動等

地域・関係機関等学校を超えた連携

各自治体の過去問をみよう

東京都

2019 東京都 A(中・高)

次の記述を読み、下の問題について、論述しなさい。

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度末に行われた教科主任会で、複数の教科主任から『身に付けた知識及び技能を活用して自分の意見を言ったり、説明したりすることができない生徒が多い』や『習得した知識を相互に関連付けて、課題を解決することができない生徒が多い』といった意見が挙がりました。そこで、今年度、各教科等の指導において、『各教科・科目等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて、自ら問いを見いだし探究する力を育成する。』を重点事項にしたいと思います。」と報告があった。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

主体的・対話的で深い学びの視点

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

2020 東京都A問題（中・高）

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度末に実施した生徒アンケートで、問題の発見・解決に向けて、『**情報の活用**が十分できていない』や『**情報の活用方法**が分からない』と感じている生徒が多数いることが分かりました。また、昨年度末に行われた教科主任会で、『インターネットから得た情報をそのまま用いるなど、情報を整理したり、分析したりして思考する活動が十分でない生徒が多い。』といった意見が挙がりました。そこで、今年度、各教科等の指導において、『**問題を発見・解決したり自分の考えを形成したり**していくために必要な情報を活用する力を育てる。』を重点事項にしたいと思います。」と報告があった。

職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

（問題）

教務主任の発言を受けて、あなたならどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ10行(350字)程度で述べなさい。また、その方策を考える上での問題意識やまとめを明確に書き、全体で30行(1,050字)以内で述べなさい。ただし、26行(910字)を超えること。

情報活用能力

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

2021 東京都(小学校)

あなたは、第5学年の学級担任である。年度初めの学年会で、昨年度の児童の課題に関する引継事項として、学年主任から、「**学習面**では、**授業のめあてを達成できない児童**がいる一方で、**めあてに到達すると、それ以上は、取り組まない児童**がいます。また、**生活面**では、**相手の身になって考えることが苦手な児童**が多く見られます。」と報告があった。この引継事項を踏まえ、話し合いを行った結果、学年主任から、「今年度の学年経営の方針を、『**教師と児童との信頼関係を築き、児童相互のよりよい人間関係を育てる**』とします。」と示された。学年会終了後、学年主任からあなたに、「先ほどの学年経営の方針に基づいて、主に集団の場面で、必要な指導や援助を具体的にどのように行えば学級経営の充実が図れるか、一緒に考えてみませんか。」と話があった。

(問題)

学年主任の発言を受けて、あなたなら学級担任としてどのように学級経営を行っていくか、学習面と生活面について具体的な方策を一つずつ挙げ、それぞれ10行(350字)程度で述べなさい。その際、その方策を考える上での問題意識を明確にし、全体で30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること。

(視点) : ○学力差、学習意欲、個に応じた指導(個別最適な学び、協働的な学び) など
○いじめ、人権教育の指導基本理念(協力、参加、体験)、道徳教育など

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2021 東京都(中・高) A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、昨年度末に実施した生徒アンケートでは、「自分の考えや質問を述べて、積極的に授業に参加している」や「根拠や理由を明確にして自分の考えを述べることができる」に肯定的な回答をした生徒が少なかったこと、また、教科主任会では、複数の教科主任から、「授業で学んだ内容を自分なりに解釈したり、**これまで学習した知識と結び付けて自分の考えを形成したりすることができていない**」ことが課題として挙げられたとの報告があった。その上で、教務主任から、「今年度、各教科等の指導において、『**言語活動の充実を図り、言語能力の向上を目指す**』を重点事項にしたいと思います。」と示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった
問題

教務主任の発言を受けて、あなたならどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、**具体的な方策を二つ挙げ**、それぞれ 10行(350字)程度で述べなさい。また、その方策を考える上での問題意識を明確にし、全体で30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること

言語能力

⇒ 学力を支える重要な要素(文科省)

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく**主体的・対話的・深い学び**を実現する学習
「**思考力・判断力・表現力等の育成**」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2022 東京都(小学校)

あなたは、第5学年の学級担任である。

年度初めの学年会における話合いの中で、学年主任から、「授業には真面目に取り組めますが、自ら進んで、**学習する意欲**に課題が見られます。」と報告があった。また、他の教員からは、「自分から興味・関心をもって学習し、疑問を調べて解決することに消極的ですね。」や「当番や係などの活動でも、もっと自分なりに工夫して積極的に取り組ませたいですね。」という意見もあった。

まとめに、学年主任から今年度の学年経営の方針の一つとして、「**自主的、自発的に学習したり活動したりする力を育む**」が示された。学年会終了後、学年主任からあなたに、「先ほどの学年経営の方針に基づいて、学級経営の重点をどこに置き、どのように取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたは学級担任としてどのように学級経営を行っていくか、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく**主体的・対話的・深い学び**を実現する学習
「**思考力・判断力・表現力等の育成**」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2022 東京都A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度に実施した生徒アンケートで、進度が自分に合っていないと回答した生徒が少なくありませんでした。」と報告があった。また、複数の教科主任からは、「自分に合った勉強方法を見付けられていない生徒が多いですね。」や「生徒の特性を十分理解した指導を行う必要がありますね。」という意見もあった。

最後に、教務主任から、今年度の各教科等の指導における重点事項の一つとして、「**個に応じた指導の充実を図る**」が示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたはどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

個別最適な学び、協働的な学び

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく **主体的・対話的・深い学び** を実現する学習
「思考力・判断力・表現力等の育成」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

小 ⇒ 学力、児童育成合体型
中・高 ⇒ 学力<A> 生徒育成どちらか選択から

小中高 共通問題（東京都が求める教師像から出題）に大きく変更

2023東京都小中高 70分

各学校では、**児童・生徒一人一人のよい点や可能性を引き出し伸ばす**教育が求められています。

このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、26行（910字）を超え、30行（1,050字）以内に述べない。

【東京都の教育に求められる教師像】

3 **子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師**

- ・常に学び続ける意欲
- ・一人一人のよさや可能性を見抜く力
- ・教科等に関する高い指導力

2024東京都小中高 70分

次の問題について、(1)と(2)を合計して 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910字)を超えること。

問題

各学校では、児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てる教育を目指しています。

- (1) 児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てることについて、あなたの考えを述べなさい。
- (2) (1)の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

【東京都の教育に求められる教師像】

- 2 豊かな人間性と思いやりのある教師
 - ・ 温かい心、柔軟な発想や思考、創造性
 - ・ 幅広いコミュニケーション能力

神奈川県

○2022年度 小中高共通 60分

神奈川県では、児童や学校等の実態に応じ、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、必要な資質・能力を育成する**主体的・対話的で深い学びの実現**に向けた授業改善に取り組んでいます。
このことを踏まえ、あなたは、**ICT活用の利点を生かした授業実践**にどのように取り組みますか。ICTを活用する意義やねらいとともに、あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

○2023年度 小中高共通 60分

神奈川県では、児童(生徒)の発達段階に応じて、**人権に関する理解**を深め、**人権尊重の意識**を高め、**一人ひとりを大切にする教育**を推進しています。
このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと思いますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

神奈川県では、児童や学校等の実態に応じ、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、**必要な資質・能力**を育成する主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいます。

このことを踏まえ、あなたは、ICT活用の利点を生かした授業実践にどのように取り組みますか。ICTを活用する意義やねらいとともに、あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

必要な資質・能力とは、確かな学力や体力、道徳性等を身に付けることであり、社会の大きな変動に伴い、保護者や国民の間に学校に対して、こうした資質・能力を確実に育成する質の高い教育を求める声が高まっている。

PISA学力調査から、日本の生徒は思考力や判断力、表現力やICTの活用などに課題があることが明らかになった。私はICTを活用し情報活用能力を高めるとともに主体的・対話的で深い学びの授業を通して確かな学力を身に付けさせ必要な資質・能力を育むため以下の取組を行う。

○情報活用能力を高め、確かな学力を育む取組

児童は誰もが探求心をもっている。探求心は新たな知識を開花させ、学びに向かう力へ導く。学力の基盤となる情報活用能力の向上を確かな学力の育成に位置づけ主体的・対話的で深い学びの授業を展開していく。

「神奈川県の魅力再発見」をテーマとしてとして社会科の授業で行う。まず、5～6人のグループをつくり、それぞれ伝統工芸、農産物、交通、史跡文化財等について学校図書館、パソコン等を活用して調べさせる。調べ学習は探求心を引き出す。次に持ち寄った**情報の取捨選択**を話し合わせ、1グループ5分間のプレゼンテーション資料をつくり、**発表**させる。**情報の整理は思考力と判断力**を養い、**発表活動は表現力**を養う。生まれ育った地域を学習することで郷土愛を育むことも期待できる。

ICTを活用した個人やグループによる調べ学習、意見交換、発表活動は個別最適な学習や協働的な学習の実現で有効な指導法である。こうした学習を通して知識・技能だけではなく思考力、判断力、表現力、課題発見・問題解決能力等確かな学力を向上させていく。(704字)

神奈川県

○2024年度 小中高共通 60分

神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、**多様な教育的ニーズ**に応え、**生徒一人ひとりを大切に育む教育**を推進しています。

このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

○2025年度 小中高共通 60分

神奈川県では、あらゆる教育活動を通して「いのち」のかけがえのなさや、夢や希望をもって生きること、人への**思いやり**、互いに支えあって生きることの大切さなどを児童一人ひとりが実感できるよう**『いのち』を大切にする心をはぐくむ教育**「**キャリア教育**」「**インクルーシブ教育**」など様々な教育施策を推進しています。このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと思いますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

横浜市

○2022年度 小中高共通 45分

「多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します」

多様性を尊重し、つながりを大切にしながら、次の四つの方向性に沿って施策や取組を進めます。

- ①子どもの可能性を広げます
- ②魅力ある学校をつくれます
- ③豊かな教育環境を整えます
- ④社会全体で子どもを育みます

上記の方向性①～④のうち一つを選び、あなた自身のよさや強みを生かして、どのようなことに取り組みたいと考えるか、400字以上500字以内で具体的に述べなさい。

○2023年度 小 45分

「いじめのメカニズム」を踏まえたうえで、いじめが生まれない学級づくりの方法を、学年の発達段階を考慮して論じなさい。（800字以内）

中高45分

オンラインを活用した授業の可能性について、どのように考えますか。基本的な考えを述べるとともに、授業での具体的な活用の例について述べなさい。（800字以内）

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

横浜市

○2024年度 小 45分 800字

背の高さの違う三人の子どもたちが、高いフェンスの向こう側で行われている野球の試合を見たがっています。どの子にも同じ高さの踏み台を一つずつ準備した場合、いちばん背の高い子にはちょうどよく、中くらいの子には高さが少し足りなく、いちばん低い子には高さがかなり足りないといった不都合が生じます。すべての子どもが試合を見られるためには、子どもの背の高さに応じて異なった数の踏み台を準備する必要があるでしょう。あなたが小学校の学級担任だとして、上記の例のような、子どもの状況に応じて異なる指導・支援をどのように実践するか、具体的な例を示しながら論述しなさい。また、そういった指導・支援が子どもたちの不平等感や不満感に結びつかないようにするための、留意点と具体的な工夫についても述べなさい。

○2024年度 中高 45分 800字

GIGA スクール構想について述べなさい。また、GIGAスクール構想を踏まえて、あなたはICTの活用にどのように取り組めますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

川崎市

2023 小中高一般選考 60分

全ての児童生徒の個性が生かされ、多様性が尊重される学級にするためには、どのようなことが大切だと考えますか。またそのためにどのような取組をしますか。具体的に600字以内で述べてください。

2024 特別選考 60分

不登校の児童生徒数が増加する中「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」が求められています。このことについて、あなたはどのようなことが大切だと考えますか。また、そのためにどのような取組をしますか。具体的に600字以内で述べてください。

2024 小中高一般 60分

川崎市の求める教師像に「子どもの話にきちんと耳を傾けることができる」があります。このことについて、あなたはどのようなことが大切だと考えますか。また、そのためにどのような取組をしますか。具体的に600字以内で述べてください

2025 小中高一般 60分

児童生徒が楽しく学校へ通うために「魅力ある授業づくり」を目指していくことが求められます。「魅力ある授業」とは、どのような授業であると考えますか。また、そのような授業の実現に向けて、どのような取組をしますか。具体的に600字以内で述べてください。

○令和4年度埼玉県(小学校・中学校・養護教諭・栄養教諭) 制限時間は60分、字数は800字程度とする。

【問題】

埼玉県教育委員会が求める教師像3つの中の1つに「健康で、明るく、人間性豊かな教師」があります。あなたは、このことをどのように捉えますか。あなたの考えを述べなさい。また、あなたは「健康で、明るく、人間性豊かな教師」であるために、日々、どのような努力をし、どのような教育実践をしていきますか。具体的に述べなさい。

○令和4年度埼玉県(高等学校) 制限時間は60分、字数は800字程度とする。

【問題】

埼玉県教育委員会では、令和3年2月に埼玉県教職員MOTTO(モットー)「未来を創る、こどもたち。未来を育てる、わたしたち。～未来への責任～」を策定しました。あなたは、この埼玉県教職員MOTTO(モットー)をどのようにとらえますか。あなたの考えを述べなさい。また、そのことを踏まえ、あなたは教員としてどのように教育活動に取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

(埼玉県小・中・養・栄) 60分

埼玉県教育委員会が求める教師像の1つに「幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師」があります。あなたは、このことをどのようにとらえていますか。あなたの考えを述べなさい。また、あなたは「幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師」となるためにどのような努力をし、どのような教育実践につなげていきますか。具体的に述べなさい。(900字)

(埼玉県高) 60分

社会の激しい変化に対応していくためには、どのような時代にあっても身に付けておくべき基礎的・基本的な力と、どのような変化にも柔軟かつ創造的に対応できる力の両方が求められます。このうち、「どのような変化にも柔軟かつ創造的に対応できる力」として、具体的にどのような力を育むことが大切だと考えますか。あなたの考えを述べなさい。また、そのことを踏まえてあなたは一人の教員としてどのように教育活動に取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。(900字)

【問題】さいたま市では「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進を掲げ、やりぬく力で「**真の学力**」を育成することを進めています。あなたはこのことを踏まえ、教師としてどのように取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。

技術革新やグローバル化が進む現代社会で豊かに生きるためには、「真の学力」として、やり抜く力を基盤に、**思考力・判断力・表現力や課題発見・問題解決能力を育む必要があると考える。やり抜く力とは、継続的に粘り強く他者と協働して物事を遂行する力である。**私は思考力・判断力・表現力を育む活動と課題解決力を育む授業づくりに取り組む。以下具体的に述べる。

1 思考力・判断力・表現力を育む活動

互いの違いやよさを認め合える学級では、児童が自分の存在感を感じ、意見を述べやすくなる。私は全教育活動を通して、安心感のある学級づくりに努める。週に1回、朝の会を利用し、学校生活における改善点について「ミニ討論会」を設定する。考えをまとめることで、児童の思考力を育む。また4人程度の小グループにおいて、自分の考えを相手に伝えることで、判断力や表現力を育むことができる。**このように継続的に児童の思考力・判断力・表現力を育む。**

1 課題解決力を育む授業

私は考えるプロセスを重視した問題解決的な学習を行う。社会科では、資料提示の仕方を工夫することで、児童の疑問を引き出し、学習問題を立てる。例えば平安時代から鎌倉時代、武士の立場が変わることに気づかせるため、2つの絵巻物を提示し、比較することで「武士はどのように力を付けたのか」という児童の疑問を引き出す。その疑問を学習問題として設定し、単元を通して話し合い、解決しながら授業を進める。**このように継続的に問題解決の過程を重視することで、児童の課題解決力を育成することができる。**

以上のように、児童が継続的に粘り強く、他者と協働して物事をやり遂げる力を育む。そのため「教師力」パワーアップ講座に参加するなど、自らが常に学び続け、児童の「真の学力」の育成に全力を注ぐ覚悟である。

○千葉県 2020

【問題】

千葉県・千葉市では平成30年3月に「千葉県・千葉市教員等育成指針」を策定しました。その中の「**教員等が身に付けるべき資質能力の4つの柱**」の一つに、**学習指導**に関する**実践的指導力**を掲げています。これを踏まえ、あなたはどのような授業実践を行いますか。また、教員生活を通じてどのように授業力向上に取り組みますか。新学習指導要領で示されている「育成を目指す資質・能力」にもふれながら800字以内で書きなさい。

(千葉県高)特例・特別選考 (一般選考は小論文なし)

日本の子供たちの自己肯定感は、諸外国と比べて低いということが、過去の様々な調査結果から明らかになっており、新学習指導要領の前文においては、子供たちが自らのよさや可能性を認識することの重要性が示されています。本県では、第3期千葉県教育振興基本計画において、新学習指導要領に基づきこれからの時代に求められる資質・能力を育成していくためには、子供たちの**自己肯定感**、**自尊感情**の向上を図っていくことが重要な課題であるとしています。あなたは、学級担任や授業担当者として、**子供たちの自己肯定感を高めるために、どのように取り組みますか**。児童生徒の育成すべき資質・能力について触れながら、具体的に800字以内で述べなさい。

○令和3年度神奈川県(小中高共通)60分と千葉県特例・特別選考

日本の子供たちの自己肯定感は、諸外国と比べて低いということが、過去の様々な調査結果から明らかになっており、新学習指導要領の前文においては、子供たちが自らのよさや可能性を認識することの重要性が示されています。本県では、第3期千葉県教育振興基本計画において、新学習指導要領に基づきこれからの時代に求められる資質・能力を育成していくためには、子供たちの**自己肯定感、自尊感情**の向上を図っていくことが重要な課題であるとしています。あなたは、学級担任や授業担当者として、**子供たちの自己肯定感を高めるために、どのように取り組みますか。** **児童生徒の育成すべき資質・能力**について触れながら、具体的に800字以内で述べなさい。

これからの社会と国民
の求める学校像

- **心豊かに、たくましく生き抜いていく基礎を培うこと**
- **必要な学力や体力、道徳性等**を確実に育成する質の高い教育

2022 東京都A問題 添削論文

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度に実施した生徒アンケートで、進度が自分に合っていないと回答した生徒が少なくありませんでした。」と報告があった。また、複数の教科主任からは、「自分に合った勉強方法を見付けられていない生徒が多いですね。」や「生徒の特性を十分理解した指導を行う必要がありますね。」という意見もあった。

最後に、教務主任から、今年度の各教科等の指導における重点事項の一つとして、「**個に応じた指導の充実を図る**」が示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたはどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

序論

近年、生徒の学習の習熟度に差(生徒間の学力差)が生まれている現状(〇〇調査によるとなどの根拠があるとより説得力があります)があり、それによる学習意欲の低下が問題視されている。そのため、~~学校教育では~~誰一人取り残さないための、個に応じた指導が必要であると考えます。私は、中学校国語科教員として、以下の2つの取り組みを行う。

SDGsの理念にある

東京都教育施策大綱にある

全国学力学習状況調査等によると、近年、生徒間で学力や学習意欲に差異があることが指摘されている。こうした課題を改善するため、誰一人取り残さないという指導姿勢で個に応じた指導を行うことが必要であると考えます。私は、中学校国語科教員として、以下、二つの取り組みを行う。

本論

1つ目は、ICTを活用した調べ学習である。この活動によって、生徒の学習意欲の向上に繋げていく。これは、レポート作りという単元で行う。まず、調べるにあたって、例えば「人気のスポーツランキング」のような、自分の興味のあるテーマを自由に設定し、仮説(具体的には)を立てさせる。次に、ICTを活用して、級友へのアンケート調査と世の中の学生の意見を調査させる。そして、そこから得た結果と仮説の比較を通して、わかったことを結論としてまとめさせる。これらの活動を3時間で行い、最後に発表の時間を設けて成果を発表させる。(もう少し分かりやすく読み手がイメージし易くなりるように記述しましょう)

これは、私のボランティア先の中学校で実際に行われた活動である。生徒は、活動の中で意欲的に調査を行い、級友の発表にも関心を持って聞いていた。この活動によって、楽しく意欲的に学習に取り組むことができる。それに加え、情報活用能力の向上や根拠を持った主張の方法の習得にも繋がると私は考える。

一つ目は、ICTを活用した調べ学習である。この活動によって、情報活用能力と学習意欲の向上に繋げていく。これは、レポート作りという単元で行う。まず、調べるにあたって、例えば「人気のスポーツランキング」のような、自分の興味のあるテーマを自由に設定し、人気ベスト10など仮説を立てさせる。次に、級友へ人気スポーツは何か、その理由は何かなどアンケート調査を行うとともにインターネットを活用して小・中・高・大学生などの考えを調査させる。そして、そこから得た結果と自身の仮説を比較して人気の理由など明らかになったことをまとめさせる。最後に調査結果や仮説の是非などについて全体の前で発表させる。

これは、私のボランティア先の中学校で実際に行われた活動である。生徒は、活動の中で意欲的に調査を行い、級友の発表にも関心を持って聞いていた。この活動によって、楽しく意欲的に学習に取り組む態度が養われ、情報活用能力の向上や根拠を持った主張を築く力を身に付くことができる。

本論

2つ目は、級友と協働して課題に取り組む活動である。この活動は、生徒の学習の習熟度の差を踏まえて行い、生徒間の教え合いを通して、誰一人取り残さない学習に繋げていく。例えば、授業内に完成させて提出させる現代語の文法の問題プリントを用意し、取り組ませる。(語順の工夫)まずは一人で取り組ませる。次に、協働(誰と?)して取り組ませる。この協働の中で、生徒同士の教え合いや学び合いが行われる。教える側も教わる側も勉強になり、より深い学びになっていくと考えられる。この活動の際私は、机間巡視はもちろん、問題がわからないが周りに聞けずにいる生徒がいないか確認し、いた場合は助けを出す。この活動によって、学習の習熟度の差を生かしてお互いが高め合う形で学びを深めることができる。また、協働することを通して、助け合いの雰囲気醸成にも繋がると私は考える。

二つ目は、級友と協働して課題に取り組む活動である。この活動は、生徒の学力差を踏まえ、生徒間の教え合いを通して、誰一人取り残さない学習に繋げていく。例えば、現代語の文法の問題プリントを用意し授業内に完成させて提出させる。まずは一人で取り組ませる。次に、理解が早い生徒遅い生徒のペアをつくり協働して取り組ませる。協働学習を通して、生徒同士の教え合いや学び合いが行われる。教える側も教わる側もより深い学びになっていくと考えられる。私は適宜机間巡視を行い、問題がわからないが周りに聞けずにいる生徒にはヒントを与えるなどの支援を行う。こうした協働学習によって、互いが助け合い高め合いながら学びを深めることができる。

結論

これらの取り組みを通して、学習意欲の向上を図り、個に応じた指導を充実させていく。私は、生徒同士で楽しく学び、協働を通して高め合うことができるような授業を行い、学校生活全体に生かすことのできるような姿勢の育成を行う。そして、誰も取り残さない指導を実現させる。

私は、学習意欲の向上を図り、個に応じた指導を充実させていく。個別最適な学びや協働的な学びを通して生徒同士が楽しく学び合い、分かる授業に努め、誰一人も取り残さない指導を実現させる。

先輩の合格論文

令和5年度 横浜市小学校

「いじめのメカニズム」を踏まえたうえで、いじめが生まれない学級づくりの方法を、学年の発達段階を考慮して論じなさい。（800字以内）

近年、いじめの認知件数の増加が深刻化している。いじめの原因として、自尊感情の低さや所属意識への不安が挙げられ、自己防衛のためにいじめを起こしてしまうと考える。そこで私は、自己肯定感を高め、誰もが安心して過ごせる学級を作るための具体的な方策を2点あげる。

1. 互いの良さを認め合う

自我が芽生え、他者との違いを気にし始める中学年では、互いの良さを認め合うことで、他者を受け入れる心を育む。実習先では4年生国語科のスピーチ発表で互いに褒め合う活動をしていた。私は互いに共感する活動を行う。例えば、道徳の読み物教材で自分が登場人物だったらどんな行動をするのか考えて、グループで共有する。ワークシートを用いて友達の考えの良い点や自分の考えとの違いを明確にし、共感することでそれぞれの考えを尊重できる。他者の意見に傾聴し、それぞれの良さに気付くことで、互いの良さを認め合う姿勢を促す。

2. 個性を活かす学級活動

自分の役割を意識し、責任をもって行動できる高学年では、自分の個性が学級に活かされることで自己有用感を育む。私が小学6年生の時、代表委員会を務めて友達から頼られたことが自信につながった。私は係活動で個性を発揮できるようにする。例えば、係活動を決める際、自分の好きなことや得意なことを書き出す。それを基にペアでいいところや向いている係を提案し合い、係を選んでいく。自分の個性を活かして学級に貢献する達成感は自己有用感を高める。また、一人ひとりが活躍できることで、学級全体で協働し、よりよい学級をつくることができる。

以上、互いの良さや個性を認め合う活動により、高い自尊感情にあふれ一人ひとりが輝き尊重し合える学級をつくる。私はいじめを絶対に許さない態度をもち、認め合う学級をつくるため、日々研鑽と修養に励む。

先輩の合格論文

令和5年度 横浜市中高

オンラインを活用した授業の可能性について、どのように考えますか。基本的な考えを述べるとともに、授業での具体的な活用の例について述べなさい。（800字以内）

新型コロナウイルスの影響により、GIGAスクール構想を前倒しする形でオンラインを活用した授業を行うことで教育の場を確保してきた。今回は具体的に2つほど活用例を挙げてオンライン授業の可能性について述べていく。

オンラインを授業の中で活用し、課題解決型授業を展開していく。はじめから教師が課題とそれに対する解を与えるのではなく、生徒自身に何が課題でそれを解決するためにどうしたら良いかを考えさせる。一人一台端末を用いることで生徒は自ら情報を収集し、課題解決に役立てることができる。予測困難な激動の時代においてこうした課題解決能力は生きるために必要な力であるので、自ら考え、学ぶ姿勢を身につけさせるよう、指導を行っていく。

次に、オンラインを授業の中で活用することで誰一人取り残さない教育というのが実現することができる。最近では、外国にルーツを持つ子どもや特別な支援を要する子供など多様な子どもたちが増えてきている。そこでオンラインドリルなどを用いて習熟度別に学習を進める。また、デジタル教科書は音声の読み上げの速度や図や文字の大きさを学習者に合わせて変更することができ、個別最適な学びの提供に非常に役立つ。

以上のようにオンラインを活用することで授業の可能性は広がる。だが、やはり、学校での学びや直接的経験も重要なので私はオンラインでの学びと学校での学びを組み合わせ、子どもたちの学びの幅を広げていく覚悟である。

先輩の合格論文

令和5年度 神奈川県高

神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な教育的ニーズに応え、生徒一人ひとりを大切に育む教育を推進しています。

このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べてください。

誰1人取り残さない姿勢と意識が大切

生徒自身がお互いを認め合うことができるようにすることも大切

①教科担任として、協働的な学びを取り入れる

グループ活動等を行う。その際、一人一人に司会や書記などの役割を持たせ、自分はこの活動に必要であるという自己有用感を育む。また、学習が進んでいる生徒に対し、遅れている生徒に補助するよう声掛けを行い、生徒同士で教え合っていけるような授業づくりを行う。

②学級担任として、お互いを認め合っていけるような学級づくりを行う。例えば、失敗や間違いを笑わない雰囲気づくり。自分の失敗談を話して、失敗をしたからこそ学んだことがあるということを伝え、失敗や間違いは恥ずかしいことではないと啓発する。また、何度始め等で、お互いを認め合っていくためにはどうすれば良いのかということを生徒自身が考える時間を作る。そこで出た考えを学級の方針として、目に見える形で掲示し、常に意識できるようにする。

協働的な学びやお互いを認め合っていく学級づくりを通して、生徒自身が一人ひとりを大切していくことができるよう努める。それぞれと向き合い、必要としていることを把握して誰1人取り残さないように努める。

先輩の合格論文

令和5年度 神奈川県高

神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な教育的ニーズに応え、生徒一人ひとりを大切に育む教育を推進しています。

このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べてください。

誰1人取り残さない姿勢と意識が大切

生徒自身がお互いを認め合うことができるようにすることも大切

①教科担任として、協働的な学びを取り入れる

グループ活動等を行う。その際、一人一人に司会や書記などの役割を持たせ、自分はこの活動に必要であるという自己有用感を育む。また、学習が進んでいる生徒に対し、遅れている生徒に補助するよう声掛けを行い、生徒同士で教え合っていけるような授業づくりを行う。

②学級担任として、お互いを認め合っていけるような学級づくりを行う。例えば、失敗や間違いを笑わない雰囲気づくり。自分の失敗談を話して、失敗をしたからこそ学んだことがあるということを伝え、失敗や間違いは恥ずかしいことではないと啓発する。また、何度始め等で、お互いを認め合っていくためにはどうすれば良いのかということを生徒自身が考える時間を作る。そこで出た考えを学級の方針として、目に見える形で掲示し、常に意識できるようにする。

協働的な学びやお互いを認め合っていく学級づくりを通して、生徒自身が一人ひとりを大切していくことができるよう努める。それぞれと向き合い、必要としていることを把握して誰一人取り残さないように努める。

先輩の合格論文

令和5年度 川崎市小中高

川崎市の求める教師像に「子どもの話にきちんと耳を傾けることができる」があります。このことについて、あなたはどのようなことが大切だと考えますか。また、そのためにどのような取組をしますか。具体的に600字以内で述べてください。

「子どもの話にきちんと耳を傾ける」ために、まず、子どもが話をしたい、聞いてほしいと思える教師であることが必要である。そのために、子どもと信頼関係を築くことが大切だと私は考える。

まず、子どもと過ごす時間を増やす取組をする。例えば、休み時間や掃除の時間、給食の時間を教室で過ごし、授業以外の子どもの姿を見て児童理解に努める。その際、休み時間は子どもと一緒に遊び、率先して掃除をして、半を回って子どもと話しながら給食を食べるようにする。そうすることで、子どもの変化に気付いて話すきっかけにしたり、良さを褒める声かけにつなげたりすることができると思う。

次に、子どもが自己存在感を感じられる声かけをする。例えば、授業中の小さなつぶやきを拾って深めて授業を進める。その際、私が解釈して言い換えをせず、子どもの言葉をそのまま受け止めるようにする。また、何かしているときに話しかけられた時には、後で聞くことを理由と共に伝えるか、一度中断して目を見て子どもと向き合って話を聞く。そのようにして、子どもの自己存在感を高める。

このようにして子どもと信頼関係を築いていき、安心して話をできるようにする。そして、小さな変化に気付いて声をかけ、子どもと目線を合わせ、言葉を受け止め、よさを認めて傾聴できる教師を目指していく。

先輩の合格論文

令和5年度 東京都小中高

各学校では、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を引き出し伸ばす教育が求められています。

このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、26行（910字）を超え、30行（1,050字）以内で述べない。

一人一人が自信をもち、「ありがとう」が飛び交う、学級づくりを目指す。私は、誰一人取り残さないという強い信念と、教師と児童の信頼関係や児童相互の望ましい人間関係の構築といった環境づくりを重視する。これらのことがあってこそ、児童一人一人のよい点や可能性を引き出し伸ばす教育を実現させることができると考えており、文頭で述べた学級づくりにつながる。このことを踏まえて、学級担任として、学習と生活の面から二つの方策を実施する。

学習指導の取り組みとして、児童が成功体験を積み、自信をもてるようにする。これまでの経験を振り返ると、自分の力で問題を解くことができた時は、自信となり、「先生のおかげ」という信頼にもつながった。そこで私は授業で扱う問題を一問多答形式にする。小学校5年生の三角形の面積では、 30 cm^2 となる三角形を考える活動を行う。答えが一つではないため、算数が得意な児童はできるだけ多くの方法を考え、自信をつけていくことができる。一方で算数が苦手な児童も、答えが複数あることを伝えることで、問題に取り組みやすいと考える。このように、習熟度に合わせて、全員が「できた」や「わかった」といった成功体験を積むことができるようにする。このことが、自信や「見てくれる」という安心感となり、教師と児童の信頼関係構築につながる。ボランティア先の小学校では自分とは異なる考えに対しては「違います」ではなく「自分とは異なる考えです」と言うように指導し、互いに尊重し合う態度が育まれていた。そこで、生活指導の取り組みとして、思いやりを持った行動をとることができるように児童と共に学級内のルールを作る。相手の話を最後まで聞く、相手の気持ちを想像して話す、失敗を笑わないなど、全員が気持ちよく学校生活を送ることができるようにする。この時、児童の意見を引き出し、取り入れながら学級全体でルールを作る。このことを通して相手を尊重し、失敗を笑わない雰囲気づくりを行う。児童は自分の考えを表現しやすくなり、また、自他共に認め合う人間関係を構築することができ、児童相互のより良い人間関係を育てることにつながる。

以上のように、誰一人取り残さないという信念のもと、教師と児童の信頼関係や児童相互の望ましい人間関係を構築し、児童のよさや可能性を引き出し伸ばす教育を実現する。日々研究と修養に励み、粘り強い実践を通して、校長先生や先輩教諭にご指導を受けながら、全力で児童に向き合っていく。

先輩の合格論文

令和6年度 東京都小中高

次の問題について、(1)と(2)を合計して30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること。

各学校では、児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てる教育を目指しています。

(1) 児童・生徒に他者への共感と思いやりの心を育てることについて、あなたの考えを述べなさい。

(2) (1)の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

現在の学校現場では、いじめの認知件数や不登校児童の増加が深刻な状態となっている。そうした中で、未来を生きる児童には、豊かな心を育み、他者と協働しながら粘り強く自分の考えを更新し、より良い社会をつくることが求められる。そのため、学校教育では、児童が他者と関わる中で、他者の考えを尊重したり、相手の気持ちを考えたりする教育活動を通して、児童に他者への共感と思いやりを育むことが重要である。これらを踏まえ、私は小学校教員として、以下の取組を推進する。(222字7行)

1. 考え議論する道徳の授業の推進

道徳の授業では、児童がお互いの考えを聞き合うことで、多様な考えに触れ、相手の考えを尊重し、認め合える心を育む。例えば、教材文を読んだ後、自分が登場人物だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかをまずは自分で考える。その後、友達とお互いの考えをグループで聞き合ったり、学級全体で話し合ったりすることで多様な考えに触れる。その際、私には人によって考えは様々であり、児童それぞれの意見は異なっていて良いことを助言する。そうすることで、児童は自分とは異なる考えを持つ児童の考えを認め、様々な考えを取り入れて考えを深めていくことができる。このように、道徳科を通して児童が多様な考えに触れることで、他者を尊重し、認め合い、共感する心を育てることができる。(335字10行)

2. 体験活動による思いやりの育成

体験活動では、児童が他者と接する中で相手の気持ちを考えることを通して、思いやりの心を育むことができる。私は、小学生の時視覚障害のある方の話を聞く機会を通して、障害のある方の気持ちを考えることができた。そこで私は、児童が他者と実際に関わる機会を取り入れる。例えば、車いす体験を行う。車いすに乗っている方のお話を聞くことで気持ちを理解することができたり、自分が実際に車いすを体験することで、どんな支援や声かけをしてもらったら嬉しいのかを実感できたりする。よって、児童は普段の生活で車いすに乗っている方を見かけた際に、相手の気持ちを考えて行動するようになる。このように、他者の気持ちや願いを考える活動を通して、児童の思いやりの心を育てる。(330字 10行)

児童に他者への共感と思いやりの心を育む教育は、他者との良好な人間関係を築き共生していくために必要不可欠である。私は、児童の豊かな心を育成するために、日々の研鑽に励み、学び続け精進する所存である。(103字3行)

近年、生徒一人一人の自己肯定感は下がりつつある。児童・生徒に他者への共感や思いやりを育てることは、生徒の自己肯定感を向上させ、生徒が予測不可能で複雑で困難な時代を他者と協働してたくましく生き抜く大きな力となる。そのための基盤となるものは、互いを認め合う学級づくりである。私は、中学校の英語科の教師として以下の取り組みを行う。

まず私は風通しの良い学級づくりを行う。生徒が他者への共感や思いやりの心を身につけるためには、生徒が他者を尊重しあうことが不可欠である。私は、英語の授業の中で話し合いの時間を積極的に設ける。そこで、私は、生徒の他者理解を促すために、読解問題に取り組ませる。登場人物の心情を読み取る問題で、生徒が発表した考えや意見の意図を他の生徒に聞いたり、発音を間違えてしまった場合には、積極的に励ましたりする。こうした活動により、生徒は相手意識や他者に寄り添った考えを持ち、互いを認め合う学級づくりに寄与する一員となることができる。

次に、私は「Thank youカード」を作成する。まず、生徒はホームルームの時間や、学校行事が終わった後に、クラスメイトの良いところや感謝したいことを「Thank youカード」に書く。そして、生徒はそれぞれが書いたカードをお互いに「ありがとう」と言って渡しあう。カードにクラスメイトの良かったところや感謝したいことを理由も含めて具体的に書くことによって、カードをもらった生徒はうれしい気持ちになり、相手のことをより一層大切にしようとする。この活動により、生徒は自己肯定感を高め、生徒の他者への共感や思いやりを育むことができる。このような経験を重ねることにより、生徒は自己肯定感を高め、互いに認め合い協働しあいながらよりよい学級をつくることができる。

互いに認め合う学級づくりを行うことは、生徒が誰一人として取り残されることなく、他者への共感や思いやりを育み、他者と良好な関係を構築するために必要不可欠である。また、このことは生徒が自己実現を目指し、よりよい社会のつくり手になるための大きな力となる。私は、このことを強く自覚し、全教育活動の中で、不斷の努力を行い、自己の研鑽に励む所存である。

論文の書き方

- 序論 (20%) : 論文題の受け止めと課題解決への方向性
- 本論 (70%) : 課題解決策2つ(東京都)、1つ(神奈川県など)
- 結論 (10%) : 課題解決・教師となる決意

予想問題 1

2 論文演習 個人・グループワーク

各学校では、誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育が求められています。

このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、26行(910字)を超え、30行(1,050字)以内で述べない。

○誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育が求められる問題の背景としてどのようなことが考えられるか。そのことを踏まえあなたの考えを述べなさい。

(主な内容を端的に)

【背景】

【あなたの考え】

○取り組む教育活動の内容（柱・テーマ）を二つ挙げなさい。

1

2

予想問題 2

各学校では、すべての児童・生徒に確かな学力を育む教育が求められています。このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、26行(910字)を超え、30行(1,050字)以内に述べない。

○すべての児童・生徒に確かな学力を育む教育が求められる背景として、どのようなことが考えられるか。そのことを踏まえあなたの考えを述べなさい。

(主な内容を端的に)

【背景】

【あなたの考え】

○取り組む教育活動の内容（柱・テーマ）を二つ挙げなさい。

1

2

予想問題 3

各学校では、すべての児童・生徒が自らの個性や能力を伸ばし様々な困難を乗り越え人生を切り拓いていく力を育む教育が求められています。

このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、26行(910字)を超え、30行(1,050字)以内に述べない。

○すべての児童・生徒に個性や能力を伸ばし困難を乗り越え人生を切り拓いていく力を育む教育が求められる背景として、どのようなことが考えられるか。そのことを踏まえあなたの考えを述べなさい。

(主な内容を端的に)

【背景】

【あなたの考え】

○取り組む教育活動の内容（柱・テーマ）を二つ挙げなさい。

1

2

次の問題について、(1)と(2)を合計して 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910字)を超えること。

問題

各学校では、児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てる教育を目指しています。

- (1) 児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てることについて、あなたの考えを述べなさい。
- (2) (1)の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

○共感と思いやりを育む教育が求められる背景としてどのようなことが考えられるか。そのことを踏まえあなたの考えを述べなさい。（主な内容を端的に）

【背景】

【あなたの考え】

○取り組む教育活動の内容（柱・テーマ）を二つ挙げなさい。

1

2

序論を書いてみよう

問題文 東京都2024

次の問題について〔1〕と〔2〕を合計して30行（1,050字）以内で論述しなさい。ただし、26行（910字）を超えること。

各学校では、児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てる教育を目指しています。

（1）児童・生徒の思いやりの心を育てることについてあなたの考えを述べなさい。

（2）（1）の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

例1

学校の役割とは児童を幸せにすることである。幸せとは児童一人一人が思いやりの心（問題文のキーワード）をもち、生きる力への成長が実感できることである。いじめ、不登校の増加は学校に突き付けられた喫緊の課題であり、思いやりを育む教育はその解決に向けた重要な取り組みであると考えます。

私はこうした現状を踏まえ、小学校教師として思いやりの心を育み、誰一人取り残さない教育を実現していく。以下具体策を述べる。

例2

学校の役割とは生徒を幸せにすることである。幸せとは生徒一人一人が思いやりの心をもち、生きる力への成長が実感できることである。いじめ問題が後を絶たず、不登校生徒は増加の一途をたどっている。生徒一人一人が幸せを実感し、過ごしやすく安心できる環境をつくることは学校の使命であると考えます。

私はこの信念のもと、中学校英語科教師として、思いやりの心を育み、誰一人取り残さない教育を実現していく。以下具体策を述べる。

学校の役割は子どもを幸せにすることである。幸せとは「差別がなく、一人一人が助け合って他者と共生することである」しかし差別は世界的な問題であるのが現状である。人種、国籍、障害、性などにとらわれず、誰もが共感や思いやりをもって共生していく社会の実現が大切であると考えます。

私は高校保健体育の教員として「児童、生徒一人一人に他者への共感と思いやりの心を育む教育」について以下2つの方策に取り組む。

1つ目は、障害に関する差別を無くすための体験学習を行う。保健体育の授業で車椅子バスケットボールを実施する。実際にパラスポーツ選手を呼び、車椅子バスケットボールと通常のバスケットボールの違いやパラスポーツならではのルールについて学ばせる。また、実際に車椅子に乗って競技をし、試合などを通して選手と触れ合い、生徒に興味、理解を持たせる。次週の保健体育の授業で実際に体験して思ったことや考えたこと、障害についての意識の変化などについてワークシートに記入し、グループで共有する。これにより、体験を通して、他生徒の障害についての考えなども知ることができ、障害についての理解が深まると共に障害に対する意識が変わると考える。

2つ目は、学級活動を通して、共生社会の実現を目指す「バリアフリーマップ」の作成をする。この活動では実際に町の地図をもって課外活動を行い、電車やバスなどの公共交通機関、道路や建物などから危険な場所、安全な場所を見つける。危険性がある場所には赤、安全性がある場所には青などの色分けをし、他生徒にも分かりやすい自分だけのバリアフリーマップを作成させる。また、どうしたら誰もが使いやすいものになるのかを考えさせ、1人1つ以上「新しいバリアフリーアイテム」と称してアイデアを考えさせる。これらは次週の学級活動にて、クラスの班で意見共有し、大きな紙に班全員のバリアフリーマップを記入し全体で発表する。この活動では、生徒が年齢や障害に左右されない共生社会について理解を深めることができると共に新しいアイデアや意見を通して、他者を思いやる心の育成にも繋がると考える。

誰もが幸せを享受できる共生社会の実現には周囲に目を配る共感や思いやりは不可欠である。私は常に「助け合い」を重視した教育実践を行う。粘り強い実践を通して、生徒と共に向上心を持って成長していく覚悟である。

- 1 **論文問題に正対していること。**きちんと問題点や問題点の背景を示しているか。
 - ・問題文が求めていることから逸脱してはいけません。
 - ・なぜそうした問題あるのかその背景を理解し論述する必要があります。
- 2 読みやすい論文であるか。
書き方のスタイルはありません。
序論（問題文をとらえた論文の方向性）、本論（具体策）、結論のスタイルはとても読みやすいです。
- 3 最初から最後まで読み手が疑問をもつことなく、すっ〜と流れるように読むことができること。
読み手が途中で頭をひねり、前に戻って何回も読み直してしまうようではいけません。
- 4 問題文に示された問題を解決できる具体策が示されているか。具体的でなければいけません。
具体策の意義を述べ、具体策を実現する手順が示されているか。
「まず〜する。つぎに〜する。さらに〜する。こうした取り組みによって〜の力が向上する」といった内容だと説得力がある具体策となります。

5 教師としての強い決意で締めくくられているか。

6 一つ一つの文章に力強さがあるか。
誤字、脱字等は減点の対象となり、最大限の注意を払う必要がありますが、一つ一つ力強い文章を示すことが大切です。

避けたい表現例

したい。と思う。と考えている。大変に。とても。非常に。と思われる、など

論文問題は教育課題を踏まえた文科省および各自治体の教育の方向性および教育施策に関連して出題される

①学力向上

②児童・生徒の健全育成（いじめ、不登校、自殺、特別支援教育など）

文科省・各自治体の教育
施策・教育目標の把握を

児童・生徒への具体的指
導法を論述すれば合格